

屋久島の肉用牛産地の維持をめざして

所属名：熊毛支庁屋久島事務所農林普及課
発表者名：東原 大

<活動事例の要旨>

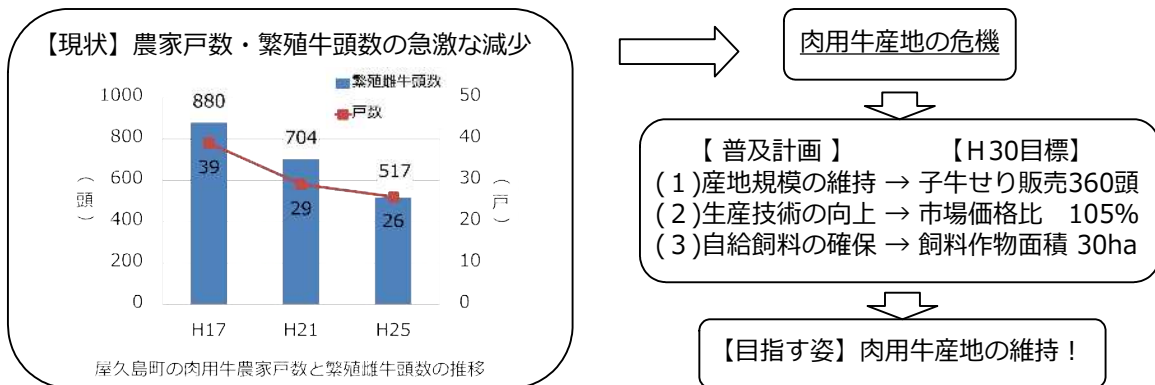
屋久島では肉用牛農家戸数および繁殖雌牛頭数の急激な減少がみられ、肉用牛産地として危機的状況であった。そこで、関係者と連携し、対象農家4戸へ①産地規模の維持②生産技術の向上③自給飼料の確保に向けた重点指導に取り組んだ。その結果、対象農家の改善目標が達成されるとともに、産地全体の子牛販売成績の向上や繁殖雌牛頭数の増加がみられ、肉用牛産地としての維持が図られた。

1 計画された活動の課題・目標と策定過程

(1) 課題・目標と設定理由、及び活動の内容と方法

- ア 肉用牛農家および繁殖牛飼養頭数は、高齢化等により急激に減少した。
- イ そこで、肉用牛産地を維持していくため、3つ目標を設定し、対象農家4戸に重点指導を行い、その活動成果を全体研修会等を通して地域の肉用牛農家へ波及した。

(2) 計画の策定過程



2 普及活動の内容

(1) 活動の経過

- ア 産地規模の維持
規模拡大に向け長期経営計画を作成支援し、計画的な自家保留や制度資金の活用を行った。また、省力化に向けICT技術の導入を図った。
- イ 生産技術の向上
子牛発育調査結果を数値で示すなど、改善課題の見える化に取り組んだ。また、定期的な飼養管理の見直しができるよう「屋久島版技術チェックリスト」を作成し活用した（調査研究、図1）。
指導班による重点指導巡回を定期的実施し、繁殖牛管理や子牛育成管理の改善指導を行った。
- ウ 自給飼料の確保
飼料作物の優良品種の実証試験、野草や焼酎粕等島内自給飼料の利用拡大を図った。

技術チェックリスト～子牛編～				
定期的に生産技術を見直し、「産地向上」を目指しましょう！ ※各項目にチェックを入れてください。				
【 飼育管理 ～出生から哺乳～ 】				
NO.	項目	該当	該当	いいえ
1	分娩直後は分娩後早く飲ませ、飲んでは確認していますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	日中の哺乳回数を制限する飼料制限や人工哺乳を実施していませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	自然哺乳の場合、自然哺乳と子牛期スペースを確保していませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	生後10日目まで、新鮮な水・エサが飼料槽に確保していませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	繁殖期の場合、全頭個別飼育等に食べられる飼料ですか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	疾病早期発見のため、2日目以降は観察していませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	受胎促進を図るため、2ヶ月以降は1回観察していませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	エサや飼料の消費量を把握し、繁殖の目安にしていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	オオクズや子牛ベッドを定期的に清潔に保っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
【 育成管理 ～離乳から出荷～ 】				
NO.	項目	該当	該当	いいえ
9	飼料を切り替える際、お水や飼料槽をきれいにしていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	いつでも新鮮な水が飲み、水槽・飼料槽を清潔に保っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11	濃厚飼料、粗飼料（糠類）などの栄養価を把握していませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12	濃厚飼料、粗飼料（糠類）などの不足または過剰は発生していませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
13	採食量向上のために飼料を徐々に増量していませんか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
14	繁殖期の場合、全頭個別飼育に食べられる飼料ですか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
15	性別や月齢前に選別分けしていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
16	オオクズや子牛ベッドを定期的に清潔に保っていますか？	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

屋久島県農林技術員連絡協議会畜産部会

図1. 屋久島版技術チェックリスト

- (2) 指導・支援の体制
 ア 町畜産部会で指導班（J A・町・普及）を組織した（図2）。
 イ 「屋久島版技術チェックリスト」を活用し、一貫した指導に努めた。

3 普及活動の成果

- (1) 課題及び目標の達成状況とその要因
 ア 産地規模の維持
 規模拡大により、対象農家の子牛販売頭数が126%増加した。産地全体は378頭/年となった（図3）。
 イ 生産技術の向上
 対象農家の子牛発育が改善され、市場価格比は108→112%となった。産地全体の市場価格比は106%となった（図4）。
 ウ 自給飼料の確保
 高齢化やほ場面積が狭く大型機械がないことから、飼料作面積は減少傾向で26haとなった（図5）。現在は、遊休地を放牧場として取り込みながら、自給飼料の向上に向けた「屋久島型放牧」の検討を行っている。

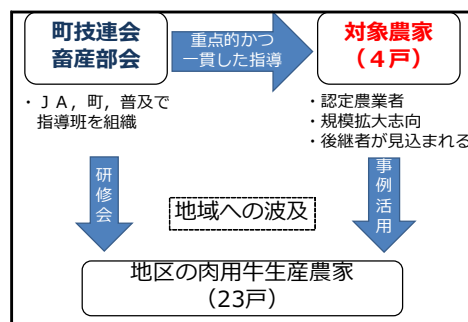


図2. 活動体制

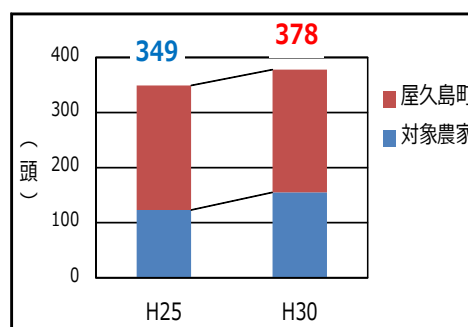


図3. 子牛販売頭数の推移

- (2) 活動に対する生産者・農家の評価
 ア 経営計画の作成や発育調査等により現状や目標を数値化することで、自身の経営や技術の現在点が分かりやすく、目標に対する結果も見え、改善意欲につながった。
- (3) 地域農業振興への貢献
 ア 繁殖牛飼養頭数の減少に歯止めがかかり、肉用牛産地として維持が図られた。

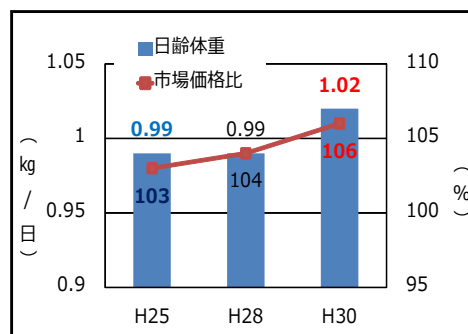


図4. 子牛販売成績の推移

4 今後の普及活動に向けて

- (1) 今後の課題
 ア 「屋久島型放牧」で省力化・施設投資の少ない規模拡大や、個人から法人へのステップアップで経営基盤の更なる強化を図る。
 イ 指導班による継続した重点指導でモデル農家の育成と地域への波及により生産技術の高位平準化を図る。
- (2) 今後の活用に向けて
 ア 決して大きな産地ではないが、今後も関係者が一体となって課題の数値化と改善に取り組み、世界自然遺産の島にふさわしい「人・牛・環境に優しい肉用牛産地」を図る。

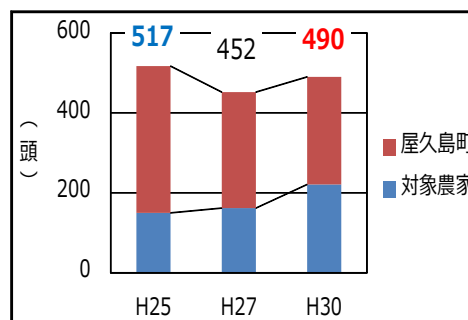


図5. 繁殖雌牛頭数の推移